

あなたの
願い実現へ

6つのお約束

「県民の会」の候補者は 全力をあげます

伊方原発再稼働ゆるしません 県民のいのちと県土をまもります



現知事は「安全対策などの条件が整えば再稼働は必要」と新たな「安全神話」を振りまいています。

「県民の会」候補は、伊方原発の再稼働は認めません。四国電力に廃炉を強く求めます。原発ゼロを

めざし、原発依存に誘導した国と電力会社の責任で、立地自治体の住民の暮らし、地域経済再建の支援をすすめます。

医療費無料・国保引き下げ…。 県民の暮らし第一で

現知事は「愛顔」で「自助・共助」を押しつける「えひめ発の社会保障制度改革提言」で、国の「税と社会保障の一体改悪」を地方から推進する立場です。教育予算も少なすぎます。

「県民の会」候補は、大型公共事業のムダ遣いを改めて、暮らし応援の県政へ、中学卒業までと75歳以上の医療費無料へ、県独自の制度をつくりたい。国保への国の支出を増やすよう求め、県独自の支援で国保料の1人1万円の引き下げを実現します。



ブラック企業規制条例、リフォーム助成… 愛媛の産業、経済、雇用をまもります



ブラック企業規制条例をつくり、不安定雇用から安定した雇用の拡大に力をつくします。大手企業の身勝手な工場閉鎖などを許さず、公契約条例を制定し、適正な賃金保障を行います。若者も女性も安心して働ける

ようにします。

中小企業・業者の仕事おこし、自然エネルギー活用の新しい事業、リフォーム助成制度をつくり、地域経済をささえます。

TPP交渉から即時撤退を求め、農協、農業委員会つぶしに反対します。価格暴落で苦しむ稲作支援、ミカン、落葉果樹、米、野菜、畜産など地域農業を振興し、愛媛農業の再生をはかります。

災害対策の遅れを克服して 安全な地域にします

県内の公立高校の校舎や体育館の「耐震化率」は、5年連続で全国で最も低く、小中学校も全国46位と極めて低い水準にとどまっています。

公共事業は災害や地震対策、交通や水確保など、県民の暮らしに役立つものを優先し、「災害に強い愛媛」をめざします。土砂災害危険箇所の指定と対策、県立学校や病院、介護施設などの耐震化工事を急ぎます。

“戦争する国”づくりに反対し、 愛媛の若者を戦場に送りません。 愛媛の空、海を軍事利用させません



「県民の会」候補は、集団的自衛権行使容認の閣議決定撤回と、その具体化を許さず、特定秘密保護法の廃止を求めます。「愛国心」教育のおしつけをさせません。米軍岩国基地の増強計画をやめさせ、県内での超低空飛行訓練中止、松山空港の進入管制権を米軍から返還させます。

消費税再増税中止を 愛媛から強く求めます

8%への消費税引き上げに悲鳴があがっています。このうえ再増税などともありません。法人税の引き下げはやめ、応能負担に税制を変え、国民の家計を温める政策でこそ税収も上がり財政も再建できます。

「県民の会」候補は来年10月からの消費税10%への再増税中止を国にもきっぱりと主張します。

「県民の会」候補は、

県民の願いを実現する幅広い運動団体と
県民の共同をすすめる日本共産党が推薦するからこそ

県政を変えることができる人です

明るい愛媛をつくるみんなの会

政治的立場の違いを越えた共同の力で、「県民主人公の県政」をつくることを目的とし、260団体が参加しています。幹事団体は愛媛地方労働組合連合会、愛媛県商工団体連合会、愛媛県民主医療機関連合会など15団体です。

伊方等の原発をなくす県民連

1986年、伊方原発の危険性を高める「出力調整実験」に反対する運動以来、プルサーマルの中止を求めるなど、ねばり強く運動し、愛媛と日本中の「原発ゼロ」をいっかんして追求しています。

日本共産党

92年間、国政でも地方政治でも「住民が主人公」をブレずにつらぬいています。政党助成金も企業献金も受け取らない清潔・公正な党です。悪政と対決し、対案を示し、保守、無党派のみなさんとも共同をすすめる党です。

あなたの願いを「県民の会」の候補者に託してください